



平成29年7月31日

各 位

会社名 : 株式会社UKCホールディングス
(コード: 3156 東証第一部)
代表者名: 代表取締役社長 福寿 幸男
問合せ先: グループ執行役員
経営企画部門長 大澤 剛
(TEL: 03-3491-6575)

(訂正) 「平成29年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成29年1月30日に開示いたしました「平成29年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

平成29年7月31日に公表いたしました「第8期有価証券報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正、並びに平成29年3月期決算短信の提出、過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



株式会社 UKCホールディングス

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス

コード番号 3156 URL http://www.ukcgroup.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員経営企画部門長 (氏名) 大澤 剛 TEL 03-3491-6575

四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	199,926	△5.2	△2,306	＝	△2,493	＝	△3,263	＝
28年3月期第3四半期	210,963	15.7	△1,515	＝	△1,889	＝	△3,109	＝

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △5,122百万円(＝%) 28年3月期第3四半期 △3,315百万円(＝%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△207.89	－
28年3月期第3四半期	△198.09	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	125,749	41,063	32.4	2,594.30
28年3月期	115,758	47,078	40.3	2,973.11

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 40,722百万円 28年3月期 46,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	－	25.00	－	25.00	50.00
29年3月期	－	30.00	－		
29年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,000	1.9	5,000	＝	4,300	＝	3,000	＝	191.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	15,700,021株	28年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	3,103株	28年3月期	2,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	15,697,044株	28年3月期3Q	15,697,302株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、4月に発生した熊本地震の影響や6月下旬の英国のEU離脱決定に伴う急激な円高により、停滞傾向にありました。第3四半期に入り、11月上旬に行われた米国大統領選挙におけるトランプ氏の当選に端を発したドル高円安、株高により、景気後退のリスクは緩和されましたが、トランプ景気の揺り戻しや保護主義の台頭といった懸念もあり、先行きはなお不透明な状況にあります。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、その牽引役をスマートフォンに依存する傾向が続いていますが、その成長性は鈍化しています。その一方で、自動車の電子化やIoT（もののインターネット化）の進展により、新たな市場の拡大が期待されます。

このような状況の下、当社グループは、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場におけるEMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、新規事業の創出に引き続き注力してまいりましたが、売上高は円高に加え、熊本地震の影響もあり減少しました。また、連結子会社であるUKC ELECTRONICS(H.K.)CO.,LTD.（以下、UKC香港という）における貸倒引当金計上等により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,999億26百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失は23億6百万円（前年同期は15億15百万円の損失）、経常損失は24億93百万円（前年同期は18億89百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は32億63百万円（前年同期は31億9百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、円高の影響に加えて、熊本地震の影響による一部製品の販売機会損失もあり、減収となりました。また、UKC香港における貸倒引当金計上等により、セグメント損失を計上しました。

以上の結果、売上高は1,887億39百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント損失は20億78百万円（前年同期は13億23百万円のセグメント損失）となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、第3四半期の売上高はほぼ計画通りでしたが、第3四半期に大型案件が集中した前年同期と比較すると、減収となりました。セグメント損失は、売上高減により悪化しました。なお、通期売上高、利益ともに第4四半期での挽回を予定しております。

以上の結果、売上高は104億40百万円（前年同期比7.1%減）、セグメント損失は2億18百万円（前年同期は1億2百万円のセグメント損失）となりました。

・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネーや出入管理関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、足元の売上高は減収となりました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、車載向け等受注増により、増収となりました。セグメント利益は、利益率の向上により増益となりました。

以上の結果、売上高は20億19百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は1億31百万円（前年同期比95.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して99億91百万円増加し、1,257億49百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加15億66百万円、受取手形及び売掛金の増加103億89百万円、電子記録債権の増加14億40百万円、たな卸資産の減少23億13百万円、貸倒引当金の増加61億19百万円、その他流動資産の増加47億3百万円及び投資有価証券の減少2億91百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して160億89百万円増加し、847億69百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加13億30百万円、短期借入金の増加181億4百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少13億94百万円、未払法人税等の減少1億76百万円、その他流動負債の減少2億25百万円及び長期借入金の減少13億10百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して60億14百万円減少し、410億63百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失32億63百万円、利益剰余金からの配当8億63百万円、為替換算調整勘定の減少19億83百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額18億3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績につきましては、第4四半期に海外スマートフォン向けを中心に売上拡大が見えていることや11月以降の円安の効果が第4四半期にのぞめることから、平成28年10月28日公表の業績予想を据え置きます。今後の事業環境の精査結果や業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
流動資産		
現金及び預金	22,705	24,271
受取手形及び売掛金	69,780	<u>80,169</u>
電子記録債権	2,444	3,885
商品及び製品	17,849	14,639
仕掛品	460	1,092
原材料及び貯蔵品	632	896
その他	5,800	<u>10,503</u>
貸倒引当金	<u>△10,954</u>	<u>△16,938</u>
流動資産合計	<u>108,720</u>	<u>118,521</u>
固定資産		
有形固定資産	2,310	2,847
無形固定資産	338	419
投資その他の資産		
投資有価証券	3,255	2,963
その他	2,345	2,345
貸倒引当金	<u>△1,211</u>	<u>△1,347</u>
投資その他の資産合計	<u>4,388</u>	<u>3,961</u>
固定資産合計	<u>7,037</u>	<u>7,228</u>
資産合計	<u>115,758</u>	<u>125,749</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,945	36,275
短期借入金	22,522	40,626
1年内返済予定の長期借入金	2,825	1,430
未払法人税等	1,050	<u>790</u>
賞与引当金	530	196
その他	2,295	2,069
流動負債合計	<u>64,169</u>	<u>81,389</u>
固定負債		
長期借入金	3,635	2,325
役員退職慰労引当金	38	40
退職給付に係る負債	368	343
その他	467	587
固定負債合計	<u>4,509</u>	<u>3,296</u>
負債合計	<u>68,679</u>	<u>84,685</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	<u>32,579</u>	<u>28,436</u>
自己株式	△4	△5
株主資本合計	<u>43,300</u>	<u>39,157</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	762
為替換算調整勘定	<u>2,843</u>	<u>859</u>
退職給付に係る調整累計額	△62	△56
その他の包括利益累計額合計	<u>3,368</u>	<u>1,564</u>
非支配株主持分	409	341
純資産合計	<u>47,078</u>	<u>41,063</u>
負債純資産合計	<u>115,758</u>	<u>125,749</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	210,963	199,926
売上原価	197,427	188,962
売上総利益	13,536	10,963
販売費及び一般管理費	15,052	13,269
営業損失(△)	△1,515	△2,306
営業外収益		
受取利息	61	22
受取配当金	32	34
仕入割引	5	6
為替差益	—	44
その他	50	74
営業外収益合計	148	183
営業外費用		
支払利息	226	273
売上債権売却損	4	5
為替差損	257	—
その他	33	91
営業外費用合計	522	370
経常損失(△)	△1,889	△2,493
特別利益		
投資有価証券売却益	—	230
特別利益合計	—	230
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,889	△2,263
法人税等	1,262	1,055
四半期純損失(△)	△3,152	△3,318
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	△55
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,109	△3,263

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	<u>△3,152</u>	<u>△3,318</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	174
為替換算調整勘定	<u>△220</u>	<u>△1,983</u>
退職給付に係る調整額	<u>△0</u>	<u>5</u>
その他の包括利益合計	<u>△163</u>	<u>△1,803</u>
四半期包括利益	<u>△3,315</u>	<u>△5,122</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△3,272</u>	<u>△5,066</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	<u>△42</u>	<u>△55</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	199,060	10,154	1,749	210,963	—	210,963
セグメント間の内部売 上高又は振替高	70	1,082	263	1,415	△1,415	—
計	199,130	11,236	2,012	212,379	△1,415	210,963
セグメント利益又は損失 (△)	△1,323	△102	67	△1,358	△156	△1,515

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△156百万円には、セグメント間消去取引△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	188,664	9,385	1,876	199,926	—	199,926
セグメント間の内部売 上高又は振替高	75	1,054	143	1,273	△1,273	—
計	188,739	10,440	2,019	201,199	△1,273	199,926
セグメント利益又は損失 (△)	△2,078	△218	131	△2,165	△140	△2,306

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△140百万円には、セグメント間消去取引△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。